

ゆうりんカフェ事業

有隣学区まちづくり委員会

▶担当 前田昌弘 ▶電話 090-9093-3033

▶メール m.maeda416@gmail.com

事業目的・背景

元有隣小学校1階交流ルームの利用促進を目的として、毎回、まちづくりに関わる様々なテーマについてゲスト講師を招き、学区民を対象とした語り合いの場を設けてきた。平成30年度よりスタートし、これまで「フランスの広場」、「番組小学校」、「銭湯」、「地図」、「空き家」などをテーマとして取り上げた。令和元年度も継続事業として採択され、学区民の関心が特に高いテーマである「防災」について活動してきた。

事業概要

昨今の自然災害の頻発を受け、学区の防災、特に避難所の運営をテーマとして設定した。防災と被災地支援のスペシャリスト(兵庫県立大学減災復興政策研究科講師・宮本匠氏、被災地NGO協働センター代表・頼政良太氏)を講師として招き、災害時の避難所運営の課題について被災地の実情を交えながら話して頂いた。また、HUG(避難所運営ゲーム)という避難所運営を疑似体験できるカードゲームを実施した。

活動期間

有隣学区を生活の場とする人たちが、安全で、安心して生活し、豊かな人間関係を通して、自己実現できる「まち」にすると共に、更に多くの人たちが訪れ、生活の場としたくなる「まちづくり」をする、地域の核としての活動をするを目的として平成14年に設立された。これまでの主な活動実績として、「有隣元学区地区地区計画」策定(平成23年3月)、「有隣学区防災まちづくり計画」策定(平成31年3月)などがある。

成果

避難所運営に関する講演会を計1回、つづいてHUGワークショップを計2回開催した。毎回40名以上の参加者を得て災害時の避難所運営の課題について認知・理解を深めた。HUGでは、自治連合会のネットワークを活かして毎回異なる参加者に声を掛けることで、より多くの人に課題を認知してもらうことができた。また、HUGの内容も回を重ねることで内容を進化させ、有隣学区の実情に即した運営上の課題や工夫を発見した。

今後の予定

ゆうりんカフェの成果は、まちづくり委員会が進めている避難所運営マニュアルづくりに活かして行く予定である。また、ゆうりんカフェを通じてマニュアルづくりのプロセスを学区民と共有することで、より実効性の高いマニュアルとなることが期待される。このことから、2020年度以降も何らかの形で取り組み(HUG)を継続することをまちづくり委員会では検討している。



避難所運営とまちづくりに関する講演会の様子。避難所運営のポイントについて解説して頂き、その後、参加者間の話し合いや講師への質疑応答などが行われた。



HUG(避難所運営ゲーム)の様子。学区の指定避難所である元有隣小学校の図面を用いて、複数のグループにわかれて実施した。参加者はカードをめくるたびに現れる個別の被災者や状況に臨機応変に対応する。



HUGの成果の例。体育館の通路の配置、本部や受付の設置場所、高齢者や病人、帰宅困難者への対処、トイレ・風呂の問題など、課題は多岐に渡る。カードの配置やメモからテーブルごとの対応の特徴が見て取れる。